

平成15年度血液製剤使用適正化普及事業結果について

－各都道府県における合同輸血療法委員会の現状に関する調査結果概要－

1 調査結果のポイント

平成15年度血液製剤使用適正化普及事業において、各都道府県における合同輸血療法委員会の現状に関する調査を行ったところ、18都府県において当該合同委員会を設置していた。参加病院における平成14年度（一部平成13年度データを含む）の主な回答結果は以下のとおり（詳細は別添参照）。

- (1) 各都府県における総使用量に占める参加病院全体の割合は、31.6～99%（平均73.5%）であり、秋田県（99%）、鳥取県（97.8%）、富山県（93.7%）、沖縄県（93.7%）、山梨県（93%）が高かった。
- (2) 輸血療法委員会の設置割合は、12～100%（平均68.9%）で、三重県（100%）、沖縄県（95%）、福岡県（92%）、山梨県（91.3%）が高かった。
- (3) 輸血部の設置割合は、12～100%（平均53.6%）であり、鳥取県（100%）、三重県（86%）、熊本県（80%）が高かった。
- (4) 輸血実施マニュアル作成割合は、29～100%、山梨県、三重県が100%であった。
- (5) 血液製剤の使用指針等の遵守に係る調査集計を行っていたのは8府県（秋田県、富山県、山梨県、大阪府、兵庫県、香川県、福岡県、沖縄県）であった。
- (6) 参加病院の廃棄された血液製剤量の集計を行っていたところは、9府県（青森県、秋田県、富山県、山梨県、三重県、大阪府、山口県、福岡県、沖縄県）であった。
- (7) 意見・要望等
 - 血液製剤使用の適正化については、今後も引き続き同様の会議を開催することが望まれることから、財政面での援助をお願いしたい。
 - 合同輸血療法委員会では、医療関係者が他病院の状況や血液センターからの最新情報を得ることを通して、自病院の問題点を確認できる。また、関係者がともに改善方法を検討することで全体のレベルアップが図れる。
 - 各都道府県の第一線の意見・要望事項を国においてとりまとめられ、全国にフィードバックして頂ければ、より効果的な役割を果たすものと考えられる。
 - 当県の大学の治療方針で血小板製剤の使用が多いと聞く。病院の輸血部や担当ではいかんとも難しく、学会等のレベルの討論事項ではないかと考える。
 - 大学（教育機関）で、むしろ積極的に議論されるべきである。血液製剤の適正使用対策について、内科学会や外科学会等、医療従事者が所属する学会の場でも適正使用を推進する必要があると思われる。
 - 病院の規模により管理体制に大きな違いがあり、規模の小さな病院では担当者の認識に大きく依存しており、管理者の認識を高める必要がある。
 - 適正使用に関し専門医のいる医療機関では、一定の管理レベルが保たれるが、多くの医療機関では医師の認識に大きく依存しており、医師への教育を行う必要がある。

2 今後の方向性

今回の調査で、合同輸血療法委員会を設置するなど適正使用の推進に向けて積極的な取組がなされている都府県が明らかとなった。また、本年7月に血液事業部会で了承された「輸血医療の安全性確保のための総合対策」において、「都道府県や各血液センター等を通じて効果的かつ効率的な先進事例（輸血医療アドバイザー制度など）を収集し、全国の都道府県、血液センター、医療機関等関係機関に広く周知する」こととしていることから、これら都府県の取組を活用しながら、より一層の推進を図ってまいりたい。

各都道府県における合同輸血療法委員会の現状に関する調査

1. 都道府県名	2. 合同輸血療法委員会の有無	3. 合同結成年度	4. 輸血療法委員会の委員数																														5. 輸血療法委員会の設置年度			6. 委員の年齢構成															7. 輸血療法委員会の設置割合		
			平成12年度										平成13年度										平成14年度										12年度	13年度	14年度	12年度					13年度					14年度							
			100	100-200	200-300	300-500	500-1000	1000-	合計	100	100-200	200-300	300-500	500-1000	1000-	合計	100	100-200	200-300	300-500	500-1000	1000-	合計	総数	男性	女性	不明	合計	総数	男性	女性	不明	合計	総数	男性	女性	不明	合計	総数	男性	女性	不明	合計	総数	男性	女性	不明	合計					
28 兵庫	○	平成12年度	0	10	6	9	7	1	33	0	15	6	10	7	1	41	2	18	14	12	8	1	55	24	27	34	33	0	0	0	6	3	42	41	0	0	0	6	3	60	56	0	0	0	6	3	65	○	82	80	71		
29 奈良	×																																																				
30 和歌山	×																																																				
31 鳥取	○	平成3年度	4	6	5	5	2	0	22	4	6	5	5	2	0	22	4	6	5	5	2	0	22	97.4	97.6	97.8	2	10	10	0	4	2	28	2	10	10	0	4	2	28	2	12	13	0	4	3	34	○	27.3	27.3	40.0		
32 島根	×																																																				
33 岡山	×	平成3年度	26	26	8	5	9	2	76	23	24	6	5	7	2	67	7	10	3	2	6	2	30	66	82	82	41	27	54	28	11	7	168	44	19	57	35	30	19	204	19	6	18	3	10	5	60	×					
34 広島	×																																																				
35 山口	○	平成12年度	1	2	2	7	2	0	14	2	6	5	8	3	0	24	3	6	4	10	2	0	25	61	63	91	6	3	1	2	2	3	20	12	8	5	2	2	3	32	12	8	8	2	2	4	36	○	63.3	45.7	60		
36 徳島	×																																																				
37 香川	○	平成4年度	0	10	3	9	5	0	27	2	11	4	6	5	0	30	-	-	-	-	-	-	-	69.9	69	-	4	14	29	2	6	1	66	4	16	32	3	6	0	60	-	-	-	-	-	-	-	×			12		
38 愛媛	×																																																				
39 高知	○	平成3年度	1	0	0	1	1	0	3	1	0	0	1	1	0	3	1	0	0	1	1	0	3	29.8	29.2	31.8	6	0	0	0	1	5	12	6	0	0	0	1	5	12	6	0	0	0	1	5	12	×					
40 福岡	○	平成9年度	1	6	8	15	13	4	47	1	8	6	15	12	4	46	1	5	10	12	13	4	45	76	75	75	39	10	47	0	22	3	121	36	7	48	1	19	3	114	42	3	48	0	17	3	113	○	63	80	92		
41 佐賀	×																																																				
42 長崎	×																																																				
43 熊本	○	平成12年度	1	0	0	1	3	0	5	1	0	0	1	3	0	5	1	0	0	1	3	0	5	36.4	36.4	37.1	6	0	0	0	1	0	7	6	0	0	0	1	0	7	6	0	0	0	1	0	7	×	80	80	80		
44 大分	×																																																				
45 宮崎	×																																																				
46 鹿児島	×																																																				
47 沖縄	○	平成3年度	0	3	4	13	2	0	22	0	3	4	13	2	0	22	0	3	4	13	2	0	22	94.2	93.4	93.7	9	7	23	0	9	6	64	12	6	27	0	9	8	62	10	7	23	1	7	6	53	○	86	95	95		
合計	18		27	79	62	111	77	10	366	36	110	78	132	87	11	454	43	109	88	126	92	10	469	-	-	-	322	77	169	9	97	35	692	406	107	234	20	100	50	997	391	96	283	30	126	64	1088	13	-	-	-		

各都道府県における合同輸血療法委員会の現状に関する調査

Table with 28 columns: 1. 都道府県名, 9. 輸血剤の設置割合, 10. 輸血剤別設置率, 21. 輸血剤でマニュアル作成割合, 12. 輸血剤による輸血回数の推移, 13. 輸血剤による輸血回数の推移, 14. 輸血剤による輸血回数の推移, 15. 輸血剤による輸血回数の推移, 16. 輸血剤による輸血回数の推移, 17. 輸血剤による輸血回数の推移, 18. 輸血剤による輸血回数の推移, 19. 輸血剤による輸血回数の推移, 20. 輸血剤による輸血回数の推移, 21. 輸血剤による輸血回数の推移, 22. 輸血剤による輸血回数の推移, 23. その他に付された内容, 24. 輸血剤の使用状況, 25. その他に付された内容, 26. その他に付された内容, 27. その他に付された内容

※合計欄は質問事項2「会議開催の有無」において「有」と回答したもののみ計上

5

各都道府県における合同輸血療法委員会の現状に関する調査

1. 都道府県名	9. 輸血剤の設置割合			10. 輸血剤使用回数 調査設計の有無	11. 輸血剤マニュアル作成割合			12. 輸血剤の 承認済みの 承認済みの 承認済みの 承認済みの	13. 輸血剤の 承認済みの 承認済みの 承認済みの 承認済みの	14. 輸血剤 承認済みの 承認済みの 承認済みの 承認済みの	15. 輸血剤 承認済みの 承認済みの 承認済みの 承認済みの	16. 輸血剤 承認済みの 承認済みの 承認済みの 承認済みの	17. 輸血剤 承認済みの 承認済みの 承認済みの 承認済みの	18. 輸血剤 承認済みの 承認済みの 承認済みの 承認済みの	19. 輸血剤 承認済みの 承認済みの 承認済みの 承認済みの	20. 輸血剤 承認済みの 承認済みの 承認済みの 承認済みの	21. 輸血剤 承認済みの 承認済みの 承認済みの 承認済みの	22. 輸血剤 承認済みの 承認済みの 承認済みの 承認済みの	23. その他に付録された内容	24. 血液製剤の適正使用に関する取組				25. 血液製剤 の適正使用 の取組	26. 血液製剤 の適正使用 の取組	27. 血液製剤 の適正使用 の取組	28. 血液製剤 の適正使用 の取組			
	12年度	13年度	14年度		12年度	13年度	14年度													12年度	13年度	14年度	12年度					13年度	14年度	12年度
28 兵庫	42	39	33	x				x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	緊急輸血時の対応	o	o	不明	不明	o	合同委員会は、車直な意見交換ができる場として、意義があると思うが、ぜひ、各府県の第一線の意見・要事項を国においてとりまとめられ、全国にフィードバックして頂ければ、より効果的な役割を果たすものと考えられる。(献血液量の全国協議会のようなもの)また、血液製剤の安全性対策の一環として、輸血前後の検査の実施について、診療報酬上の手当も含め、より明確な位置づけを行っていただきたい。				
29 奈良																										血液製剤の適正使用を推進するためには、実際に血液製剤を使用する医師に対する研修、情報提供が必要であるが、これを実施するためには、専門知識を持った職員等の育成等体制整備が必要である。また、血液製剤の適正使用における指導等を行い、都道府県も見受けられることから、厳しい基準に統一するよう要望する。				
30 和歌山																														
31 鳥取	100	100	100	x				x	x	o	x	x	o	x	x	x	x	x	x	改正薬事法の説明、血液製剤の適品対応、副作用の取り扱い状況	o	o	不明	不明	血液製剤の適品、廃棄が減少	o	病院の規模により管理体制に大きな違いがあり、規模の小さな病院では担当者の認識に大きく依存しており、管理者の認識を高める必要がある。また、適正使用に関し、専門医のいる医療機関では、一定の管理レベルが保たれているが、多くの医療機関では医師の認識に大きく依存しており、医師への教育を行う必要がある。			
32 島根																														
33 岡山				x				x	x	x	x	o	o	x	o	o	o	o	o	輸血療法、血液使用、輸血管理体制等の適正化に関する研修	o	o	不明	不明		o	岡山県では、合同輸血療法委員会は設けていませんが、平成3年から岡山県赤十字血液センターを事務局として、「岡山県輸血研究会」を発足し、毎年1回開催し、これまで14回の研究会を重ねてきています。本研究会は、血液の使用機関である岡山県下の医療機関、血液の供給機関である岡山県赤十字血液センター及び行政機関である岡山県血液安全協議会の三者で構成し、輸血医療や血液使用の適正化をめざして協議、研修、情報交換等を行っています。この研究会への参加医療機関は、血液使用量と地域性等を考慮して岡山県医師会及び岡山県病院協会から推薦された42病院ですが、最近では、それ以外の病院にも案内を出し、できるだけ多くの医療機関が参加できるようにしています。医療機関からの主な参加者は、輸血療法委員会や輸血部の責任医師を中心に、両部門関係の医師、臨床検査技師、看護師等です。また、「岡山県血液製剤使用適正化普及委員会」もその活動の一環として、本研究会にジョイントし、種々の情報を医療機関に提供しています。			
34 広島																														
35 山口	16.7	17	12	o	63.3	71.7	78			o	x	o	o	o	o	o	o	o	o	輸血療法マニュアルについて	x	o	o	o		o	1. 合同輸血療法委員会の意義について、医師、薬剤師、看護師及び臨床検査技師が、一堂に会して輸血療法全般にわたり意見交換を行う場として、委員会は有意義であり、各医療機関の血液製剤使用適正化等に反映されているものと考えます。2. その他として、今年度の合同輸血療法委員会において、適正化に関する国への要望として、次の意見がありましたので、ご検討をお願いします。「適正化に関する研修等への情報提供は、短期発見、早期対応のために、患者家族への情報提供は必要ないと考えられる。しかしながら、患者が一旦退院し、その後、別の原因で死亡した場合は、夫婦間の感傷も考えられることから、特に、HIVに関しては、患者が死亡している場合についても情報提供をすべきと考える。従って、これらのごときを踏まえ、情報提供をすべて医師、医療機関の判断に委ねるのではなく、指針的なものも示してもらいたい。」			
36 徳島																														
37 香川			20	x			29	x	x	o	o	o	o	x	x	x	x	x	x		不明	不明	不明	不明		x	血液製剤の適正使用推進のため、各病院における輸血療法委員会、輸血部門の設置を義務化できないでしょうか。			
38 愛媛																														
39 高知				x				x	x	x	x	o	o	x	x	x	x	x	x		不明	不明	不明	不明		o	本県では、血液製剤の使用割合が全国的に高く、血液製剤の適正使用に伴い、国の基本方針に基づき、院内体制の整備について、医療機関へ働きかけていくこととして、補助事業へ組み込む旨の国からの通知により、愛媛県血液製剤適正使用協議会委員会の協力のもと事業内容の見直しを行い、来年度以降の計画を立てていた。しかし、平成15年12月24日付事務連絡により、平成16年度の委託及び補助が廃止となった上、「明確に都道府県の責務として位置づけられていない」と記載されており、県予算担当課からも事業の継続について強く懸念されたところ。今後、都道府県では実施しなくてはならないと判断し、国の方針を示して頂きたい。また、本県では、平成16年度において愛媛県血液製剤適正使用協議会委員会の協力を多大に頂きながら、医療機関の現状を把握するため、県単独事業として実施しますが、財政状況が厳しく、事業の規模がかなり縮小されました。平成17年度以降、何らかの予算措置の復活を御願いたします。			
40 福岡	41	76	13	x				x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	&A、レセプト審査状況	o	o	o	x		o	法律、国の基本方針等で都道府県の適正使用に対する記述があまりないため予算の確保ができていない。全国あるいは各都道府県単位の比較資料がないため、適正使用対策の効果の測定評価等が難しく、アンケート集計の結果を都道府県に配布していただきたい。			
41 佐賀																														
42 長崎																														
43 熊本	80	80	80	x	80	80	80	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o		不明	不明	不明	不明		x	血液製剤の適正使用対策として、自己血輸血の推進について、国の補助制度等を整備・充実していただきたい。			
44 大分																														
45 宮崎																														
46 鹿児島																														
47 沖縄	72.7	72.7	72.7	o		77.3		o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o		不明	不明	不明	不明		o				
合計	-	-	-	4	353	429	418	4	4	11	8	11	13	9	9	16	11	9												